

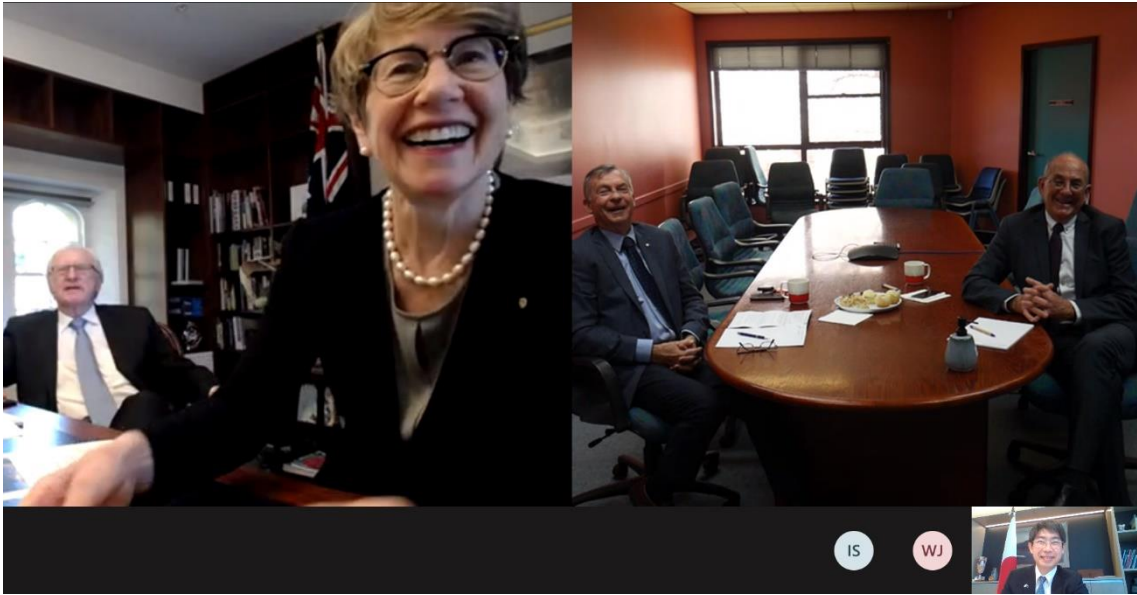
## 在シドニー総領事通信

### 第 23 回 シドニーの総督府と日本

令和 2 年（2020 年）9 月 4 日

さる 8 月 27 日、ビーズリーNSW 州総督御夫妻は、日本とゆかりの深い同州カウラ市のビル・ウエスト市長とボブ・グリフィス日本庭園・日本文化センター理事長とのテレビ会議を行い、私も同席させていただきました。当初、戦後 75 周年を迎えるこの時期に、州総督御夫妻のカウラ公式訪問が検討されていましたが、新型コロナウイルスで実施困難となり、オンライン訪問の形で実現したものです。

この機会に、今回の総領事通信では、シドニーの総督府と総督、そして日本とのかわりについて、私が着任してからの経験をもとに紹介させていただきたいと思います。

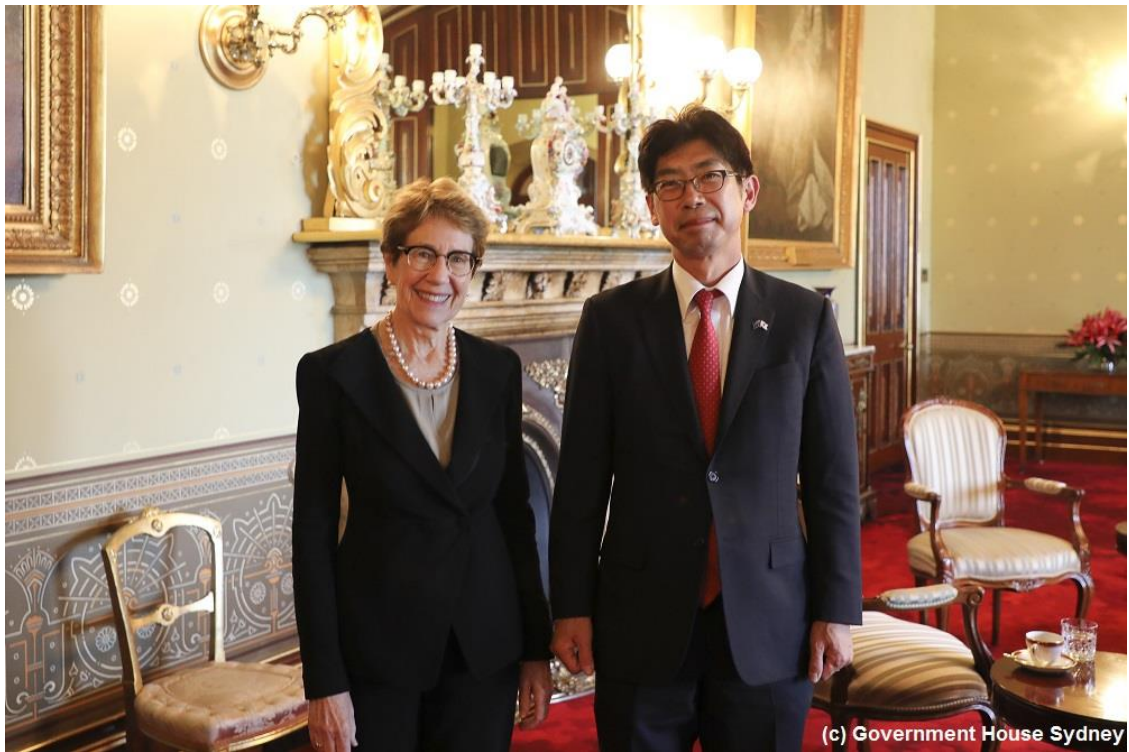


ビーズリーNSW州総督夫妻とカウラ市関係者とのテレビ会議  
(2020年8月27日)

このテレビ会議は、ビーズリー総督夫妻の様々な質問に答える形で、約1時間行われました。ウエスト市長やグリフィス理事長から、カウラと日本との交流の歴史とともに、新型コロナウイルスでカウラ日本庭園・文化センターへの来訪者が減少し、日本を含む幅広い関係者から支援を得ている現状について説明がありました。

私からは、ビーズリー総督夫妻に対して、戦後75周年の機会にこのような行事を企画し、カウラ市が日豪間の和解に果たした大きな役割を改めて確認いただいたことに感謝する旨をお伝えしました。カウラ市の日本人戦争墓地には、第二次世界大戦中に死亡した日本人の墓が豪州各地から改葬されたのみならず、和解促進のために日本庭園・日本文化センターの建設・運営や留学交流が進められてきたこともご説明しました。

NSW州を代表する総督夫妻に、このような配慮をしていただいたことを大変嬉しく思います。



ビーズリーNSW州総督への着任挨拶のための表敬  
(2019年10月31日、総督府提供)

私は昨年10月の着任直後に、ビーズリー総督に着任挨拶のための表敬の機会をいただき、総督府に伺いました。その際に、日豪間の和解や戦後75周年の重要性についてもご説明し、今回の行事へのご配慮につながったと感じています。



宮崎裕子最高裁判所判事によるビーズリー総督表敬  
(2020年2月12日、総督府提供)

NSW州総督は、世界各国から要人がNSW州を訪問する際に表敬を受けられます。本年2月、宮崎裕子最高裁判所判事が豪州連邦・NSW州裁判所との交流のためにキャンベラとシドニーを訪問した際に、ビーズリー総督を表敬し、長時間歓談されました。ビーズリー総督は、2019年5月に総督に就任する前は長年裁判官を務めていたことから、専門分野である法律も含め、日豪間の相互理解を深める機会となりました。

また、私の着任前になりますが、ビーズリー総督御夫妻には、昨年5月に総領事公邸で開催された御即位祝賀レセプションにもお越しいただいています。



総督府  
(2019年11月3日)

総督府の建物は、オペラハウスを見下ろす小高い丘の上にあります。今は新型コロナウイルスの影響で一般公開されていませんが、通常は曜日・時刻限定で一般公開されています。私自身、昨年11月にシドニーの歴史的建造物が一斉に一般公開される「オープン・シドニー」の週末に総督府の建物を見ましたが、その数日前に私が表敬した時に使われた部屋も見ることができ、総督府が一般人に開かれていることを実感しました。



シドニー博物館にある最初の総督府の模型  
(2020年8月29日)

総督府の歴史は古く、シドニーに英国からの船団が到着した1788年に、最初の総督府の建物が始まりました。その建物は初代から第9代総督まで使われましたが、老朽化したことから、1845年に今の総督府が完成し、これが現在まで使われています。

最初の総督府の場所には、シドニー博物館が建てられ、最初の総督府の模型も収蔵されています。初代から第9代までの総督の名前も掲示されていましたが、フィリップ初代総督、ハンター第2代総督、キング第3代総督、ブライ第4代総督、マコーリー第5代総督、ブリスベン第6代総督、ダーリング第7代総督、ブルク第8代総督、ギップス第9代総督と、市内の通りや名所などで見覚えのある名前ばかりです。



シドニー博物館の前庭  
(2020年8月29日)

シドニー博物館の前庭には、総督府の遺構が白い敷石で示されています。入口の左右には、アーサー・フィリップ初代総督の胸像とともに、原住民の民族を象る29本の柱が展示され、当時の歴史を思い起こさせます。

今のオーストラリアや NSW 州にある様々な制度や文物は、当地の歴史に深く根差しています。これから日本とオーストラリア、そして NSW 州との関係を強化するために、日豪関係史のみならず、オーストラリアの歴史やさまざまな課題を学び、理解を深めていきたいと思えます。

NSW 州総督ウェブサイト（英語）

<https://www.governor.nsw.gov.au/>

NSW 州総督とカウラ市関係者のテレビ会議（2020 年 8 月 27 日）（英語）

<https://www.governor.nsw.gov.au/governor/vice-regal-program/thursday-27-august-2020/>

総領事通信第 19 回「日豪の架け橋としてのカウラ」

[https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya\\_19newsJ.pdf](https://www.sydney.au.emb-japan.go.jp/document/CGKiya_19newsJ.pdf)

シドニー博物館（英語）

<https://sydneylivingmuseums.com.au/museum-of-sydney>

（以上）